

シドニー日本クラブ
第 480 号

JCS だより

2月号
2026



山中総領事とJCS役員が新年の会
JCS日本語学校の202年度新学期始まる
NSW州立美術館のDangerously Modern展に行ってきました！
Let'sアート●NSW州立美術館2026年の注目展覧会
実証！インスタ便利術●レシートでキャッシュバック
新連載●ナチュロパシーという選択

理事会から

●2026年2月定例理事会 2月4日(水)7:00pm-(対面とzoom)

渡部会長、水越副会長、松隈副会長(事務局長)、リヒター理事(会計)、ホジュキンソン理事、斉藤理事、林理事、葛西理事、阿部理事、堀場理事、マーン専門理事、コステロ専門理事、リード専門理事、飯島専門理事、多田監事、岩佐監事、チョーカー相談役、神田領事 ●会員世帯数:340世帯(一般67世帯・学校273世帯)

(1月は理事会休会のため、「理事会から」は休載します。)

2月理事会の議題(予定)

1. 総領事館からのお知らせ
2. 今年のイベントについて
3. 日本語学校三校からの報告
4. その他

※理事会は1月を除く毎月第一水曜日に開催します。

時間は午後7時から9時で、会議形式は対面とオンラインの併用です。対面の場合は、チャッツウッドにある Dougherty Community Centreで行います。

シドニー日本クラブの会員であれば、どなたでも会議を傍聴することができます。事前にお申し出ください。

2026年のJCSのイベント

7月



JCSフェイト

日時:7月5日(日)11時~15時(予定)

会場:Auburn Community Picnic Area

内容:JCS本部や日本語学校三校の出店のほか、会員の店舗のほか、金魚すくい、ヨーヨー、射的のゲーム、綱引き、玉入れ、パフォーマンスと盛りだくさん!

8月



シドニー日本クラブ年次総会

日時:8月15日(土)15時~16時

会場:Dougherty Community Centre, Chatswood

年次総会では、事業報告と事業計画、決算報告と予算案の審議と承認を行います。会員の方はどなたでも参加いただけます。

9月



チャッツウッドで日本の祭り

日時:9月13日(日)11時~18時(予定)

会場:Chatswood Mall, Chatswood

今年もシドニー北部チャッツウッドで日本の祭りを開催し、祭りを通じて日本文化を紹介します。昨年から日曜開催になりました。

11月



シドニー日本クラブ忘年会

日時:11月(予定) 会場:(未定)

昨年は開催できなかった忘年会ですが、なんとか今年は開催したいと考えています。恒例のラッフル抽選や、トリビアクイズで大いに楽しみましょう!

JCS 2026年度 会費納入のお願い

2026年度(2026年1月~12月)の年会費のお支払いがまだの会員の方がいます。

すでに当初の支払い期限が過ぎっていますが、今月末まで期限を延長します。

まだお支払いが済んでいない方は、至急お支払いの手続きをお願いします。

会費納入届は、以下のリンクからアクセスされて、オンライン提出をお願いします。

<https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

納入期限: 2026年2月20日必着

※なお、事情によりお支払いが遅れる場合は、事前に事務局までご一報ください。

ご連絡がないまま期限を過ぎますと退会とみなされますので、ご注意ください。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: jcshulaaloha@gmail.com

フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



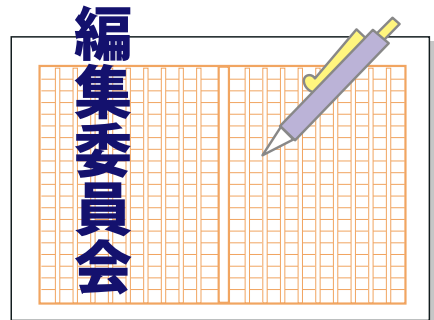
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2024年秋季2位、春季優勝。2025年秋季(中止)、春季優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: adasada@hotmail.com または、

電話: 0402-048-570 (ソフトボール部部長 ^{さだのり} 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール: jcs@japanclubofsydney.org または、

電話: 0421-776-052 (JCS事務局)

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：飯島浩樹／事務局長：岩崎麻由／会計：長谷川潔／ボランティア：斉藤なお子、なかのあやこ



山梨県富士吉田市から見た富士山(1月26日 飯島撮影)

■一時帰国を通じて考える日本人コミュニティの役割

1月下旬、所用のため日本へ一時帰国する機会があり、実家のある山梨県富士吉田市に滞在。冬晴れの空の下、雄大な富士山を仰ぎ見ながら、日本の自然の豊さをあらためて実感しました。海外で生活する時間が長くなるほど、日本の風土や文化が持つ力を、より客観的に深く認識することが多くなります。今回の滞在は、新年を迎え、気持ちを新たに今後の活動への思いを整理する貴重な時間となりました。

また、今回新潟県の苗場スキー場にも足を運びました。日本海側は記録的な大雪に見舞われていましたが、グレンデには多くのオーストラリア人観光客の姿が見られました。オーストラリア人が、雪景色やウィンタースポーツ、日本の食文化を楽しむ姿は、日本の地方が持つ魅力が国境を越えて確実に評価されていることを示していること



オーストラリア人観光客などで賑わう苗場スキー場(1月21日 飯島撮影)

感じました。

一方、世界に目を向けますと、政治・経済の情勢は依然として不透明さを増しています。日本では総選挙を経て政治の動向が注目され、為替市場では円安基調が続く中、米ドル安なども重なり、国際金融環境は大きく揺れ動いています。

そのような中であって、オーストラリアは資源国としての強みを背景に、比較的安定した経済基盤を維持していて、オーストラリアドルも堅調に推移しています。オーストラリア社会の一員として、また日本文化を伝える担い手として、私たちが果たせる役割は多岐にわたると感じます。海外に暮らすからこそ、日本の価値を見つめ直し、それを現地社会に生かしていく視点が求められると思います。親睦の会としても、会員の皆さまのつながりを大切にしながら、地域社会との連携を深め、次世代へと続くコミュニティづくりに、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

■親睦の会「新年会」を2月14日にチャッツウッドで開催

今年もスペシャルゲストのスピーチや素敵な景品が当たるラッフルチケット、豪華お節料理など盛りだくさんの内容で「親睦の会」新年会を開催します。会員の皆さまはもちろん、ご家族・ご友人もお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

【日時】2026年2月14日(土)12:30～15:00

【会場】Dougherty Community Centre Auditorium

■3月21日(土)ロジャー・パルバース先生講演会

「親睦の会」では、3月21日、シドニー在住の作家、演出家、映画監督のロジャー・パルバース先生講演会を開催する予定です。パルバース先生はこれまで日本語や英語で多数の著作があり、昨年末刊行された回想記「時の一針一針～人生という布に縫い込まれたメモワール」などについてお話いただきます。場所・時間等は追ってお知らせしますので、多くの方のご参加をお待ちしています。



シドニー在住の作家、映画監督のロジャー・パルバース氏

また、会ではお手伝いのボランティアを募集しています。入会やお問い合わせは、shinbokunokai25@gmail.co (事務局：岩崎)までご連絡ください。

総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

領事情報

(1)精神科医療の専門家による無料相談窓口のご案内

当館は精神科医療の専門家と提携し、無料で相談に応じる取組を行っています。下記のようなお悩みをお持ちで相談を希望される方は、当館(cgryoji@sy.mofa.go.jp)までメールでご連絡ください。

○主な相談事項

- ・DV被害者支援(配偶者やパートナー等から様々な被害(DV等)をうけていると感じている等)
- ・その他日常生活上のお悩みや不安など

○相談方法

メールを送付する際には、必ず5つの事項(1.氏名、2.生年月日、3.電話番号、4.メールアドレス、5.お悩み事の内容(簡単な説明をご記入ください))を記載願います。お知らせいただいた連絡先に対して、精神科医療の専門家から連絡します。

○注意事項

この相談窓口におけるサービスは心理的なサポートや情報の提供を行うものであって、診断・治療を目的とするものではありません。予めご理解いただけますようお願いいたします。

(2)「DV被害者支援のための相談窓口」のお知らせ

当館は、当地でDV被害者等を支援する団体「Bonnie Support Service Ltd」と提携し、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩んでいる邦人のための相談窓口を開設しています。対象はNSW州にお住まいの邦人女性(及び子供)で、相談者は日本語によるサービスを受けることができます。DV被害でお悩みの方は、まずは下記相談窓口までご相談ください(NSW州以外の地域にお住まいの方については、情報提供やお近くの相談機関を紹介します。)。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20230828dv.pdf>

治安・安全情報

(イスラエル権益・ユダヤ人標的のテロに対する注意喚起)

(1)昨年12月、ボンダイビーチでユダヤ人を標的とした銃乱射事件が発生し、多数の死傷者が出ました。その他、2025年中にはユダヤ教の礼拝所(シナゴグ)やその周辺地域において、反ユダヤ主義を掲げる者の犯行と思われる器物損壊、放火未遂、放火、関連した爆発物の発見などの事案が相次いで発生しています。

(2)中東情勢を背景に、イスラエル関連施設やユダヤ人を標的としたテロ事案が世界中で頻発しているほか、イスラム過激派組織がボンダイビーチの銃乱射事件を賞賛し、支持者に同様の行動を起こすよう呼びかけている旨報じられており、引き続き注意が必要です。

(3)邦人の皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページ、たびレジ、現地報道等から最新の治安情報の入手に努めていただくようお願いします。また、シナゴグをはじめとしたユダヤ教関連施設やデモ抗議集会場の周辺を含め、不特定多数の人が集まる場所やイベント(ソフトターゲット)はテロの標的となるリスクが相対的に高まる場所、周囲の状況に注意し、不審な状況を察知した場合は速やかにその場を離れるなど、安全対策にご留意ください。安全対策に関する詳細については、以下の広域情報をご確認ください。

<外務省・海外安全ホームページ 広域情報:欧米等でのテロ等に関する注意喚起>

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2025C049.html

(4)万が一被害に遭った場合や邦人の被害を認知した場合には、警察(000番)への通報とともに、当館までご一報ください。

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School City

学校 Ultimo Public School (47-53 Jones Street, Ultimo NSW 2007)

連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話 0452-141-618 授業 毎週土曜日／幼児部:9:30～12:10、小学部:9:30～12:15

Email student.city@jcs.org.au Web <http://cityschool.japanclubofsydney.org/>

シティ校の2026年は例年より少し早い1月31日からスタートいたしました。本年も子どもたちが日本語を通じて文化や習慣などを学んでいく様々な活動にも力を入れたいと思っております。そこで今回はシティ校が誇る、幾つかの活動をご紹介しますと思います。

充実の蔵書

シティ校では生徒さんが入学されると一人ひとりに図書バッグをプレゼントしております。図書バッグにはそれぞれのお子様の貸出状況がわかるようにバーコードをつけてあり、円滑な図書活動の手助けとなっております。絵本から図鑑や漫画、物語などたくさんの蔵書があり毎週多くの生徒さんが日本語の本に触れる機会となっております。日本語学校の時間以外にも子どもたちが少しでも日本語に触れ、興味をもってくれるきっかけになるようにと、保護者のボランティアさんにお手伝いを頂き継続ができていますシティ校の自慢の図書コーナーです。



保護者ボランティア

シティ校の日々の活動は保護者ボランティアさんたちのお力添えを頂き、継続できております。幼児部から小学校低学年のクラスへのクラスサポート、図書活動の運営をサポートして下さる図書担当、クラスでの配布物などのコピーをお手伝いして下さるコピー担当、具合が悪くなった生徒さんやケガをした生徒さんへの対応をサポートして下さるファーストエイド担当。年間を通じてご協力頂いているシティ校の心強い応援団です。コミュニティーランゲージスクールの運営には保護者の方々のサポートが欠かせません。本年度もみんなで力を出し合いながら子どもたちの学びを応援する強力なサポーターとして頑張っていきたいと思っております。



ソーラン隊

結成から4年目を迎えるソーラン隊。地域のイベントや校内のイベントで踊りを通じて日本文化を広める活動をしております。学期期間中の朝早くから水越先生のご指導を頂き、始業前の校舎には子どもたちの元気な「ソーラン！ソーラン！」という掛け声が響いております。下は幼児部の子どもたちから小学校高学年まで幅広い年齢の子どもたちが一緒に頑張っており、クラスルームだけ



では学べない貴重な経験となっています。今年も頑張るぞーっ！

クラス紹介 きなこもち組

JCSシティ校のきなこもち組はハイスクール生(8-11年生)11名のクラスで新年度をスタートしました。生徒達は昨年度最終日に行われた卒業式で、卒業生を送る日本語での合唱に初挑戦し、慣れない事にクラス一丸となって取り組み形にするという団結力を見せてくれました。RADWIMPS(ラッドウィンプス)の「正解」を上級生3クラス合同で合唱したのですが、何週も合唱の練習を重ね、式の直前まで最大限の音量を出すべく歌い込んだ甲斐があり、式に参加した低学年の生徒や保護者からは「感動した」と好評を受けました。この経験を活かして今年はいろいろな事に挑戦し「最後までやり遂げる」ということをクラスの目標にしたいと思います。



日本語の学習では、生徒それぞれに例えば、漢字にもっと強くなる、作文の力を上げる、など今年度の目標があります。そこに大小問わず挑戦を課すこと(漢字を覚えたらそれを使った熟語もいくつか覚える、必ず新しい語彙や表現を入れて作文を書くなど)、そしてそれをやり遂げられるように具体的な計画を立てます(毎月/毎週決めた数の新しい語彙を習得する、毎週日記をつける、など)。

きなこもち組の授業では教科書(5年生)を使いますが、生徒達が学習した新しい漢字や熟語、語彙、表現などを文章で使って「身に付ける」ことができるように、クラスのアクティビティやゲーム活動、宿題などでもサポートをしていけたらと思います。興味が持てるような活動を生徒達自らが考える自主性も大切にしながら、また様々な学校行事を楽しみながらクラスメイトと充実した1年が過ごせるように導いていけたらと思います。

(担任:長谷川裕子)



JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

2026年のダundas校

ダundas校は今年も新しく、12世帯のご家族を迎えることになり、新入生・編入生合わせて20人が加わり、計96世帯、4歳のプリスクーラーから17歳の高校3年生まで143名の生徒、全11クラスに分かれ、22名の教員・アシスタント教員の指導のもと、毎週楽しく日本語を学んでいます。

2025年校内発表会・卒業式

昨年のことになりますが、四学期の最終日に、1年間の集大成となる校内発表会が開催されました。イベント系の円滑な運営と的確なオーガナイズにより、生徒・教職員・役員が力を合わせ、無事に終えることができました。皆様の協力のもと、温かく一体感のある発表の場になったことを、大変うれしく思います。

当日は低学年から高学年まで、それぞれの学習内容に応じた多彩な発表が行われ、歌やダンス、朗読、群読劇、俳句、手話、制作活動、演奏など、表現豊かなプログラムとなりました。



第一部では、流れ星組による「自己紹介と歌」を皮切りに、最年少の太陽組は、「歌とダンスと言葉遊び」に挑戦しました。一人ひとりが堂々と前に立ち、リズムよく踊る姿はとても微笑ましく、初めての場ながらも練習の成果を存分に発揮していました。その後は、大地組：群読朗読劇「和尚さんと小僧さん」、かざぐるま組：手話付き歌「友達はいいいもんだ」、虹組：「龍についての発表」、清流組：詩の朗読「わたし(ぼく)のすき」と、各組が工夫を凝らした発表を行いました。

第二部では、たんぽぽ組：既習漢字の発表「春よ来い」が続ぎ、銀河組：俳句と早口言葉の発表では、会場はどっと笑い声に包まれ、大盛り上がりでした。たくさんの早口言葉を堂々と言い切る姿に、会場の皆さんも感心されたことと思います。その後は、山河組の「ラジオの時間」、若葉組のうちわ作りと俳句の発表では、ラジオの時間をクラスで演じる発表の場において、それぞれの役割を意識しながら、息の合ったやり取りを披露してくれたり、みんな思い思いに表現し、どれも心のこもった俳句でした。最後は、毎年恒例で楽しみにされている大河組によるハンドベルで「エーデルワイス」「ホワイトクリスマス」「夢をかなえてドラえもん」の演奏が行われました。演奏中

にはハプニングもありましたが、気を取り直して最後まで皆で力を合わせ、素敵なハーモニーを奏でる姿が印象的でした。大きい生徒さんの発表を、まだ幼い幼児部の子どもたちが真剣な眼差しで鑑賞する姿はなんとも愛らしく、これから日本語を学ぶ上で大きな目標となってくれたことでしょう。今回もこの一年での生徒たちの成長を感じられる会となりました。

卒業式では、大河組のスコット海愛さん・ウエスト詩亜奈さん・湊クララさんの3名が卒業し、新たな一步を踏み出しました。

卒業生インタビュー

Q1. ダundas校には何年在籍されましたか？

Q2. 日本語学校で思い出に残っていることを教えてください。

Q3. 将来の夢を教えてください。

Q4. ダundas校の在校生へのメッセージをお願いします。



●スコット海愛さん

Q1. 14年。Q2. 調理実習(ゆう子先生)・運動会で初めて勝った時・友達。Q3. かいけいしになること。Q4. 漢字を書けなくても読めなくても、だいじょうぶです。

●ウエスト詩亜奈さん

Q1. 2012年から14年在籍しました。Q2. 色々な行事をさせてもらいました。七夕で笹の葉をもらって、かざりや願いごとを付けたり、運動会では、リレーの前にとてもきんちょうしたり、借り物競争で小さい子と手をつないで走ったのがかわいかったのを覚えています。調理実習では、大上先生のクラスで毎年ぎょうざを作ったのがおもしろかったです。あと、毎週パンを買うのが楽しみでした。Q3. まだよくわかりません。Q4. 毎週土曜日に通ったり、宿題をしたり、大変ですが、きっと役に立つと思います。がんばってください。

●湊クララさん

Q1. 14年。Q2. 学校行事はいつも楽しみにしていました。Q3. キャリアを積んで高みを目指す、ふじゆうなく日本語を使って日本で暮らしてみること。Q4. 日本語学校に行くことで後悔することは絶対にないので、諦めないで続けてください。継続は力なり！

現地の学校での勉強や課外活動がある中、Year 12の卒業まで日本語を学び続け、卒業するのは簡単なことではなかったはずですが、またそのサポートを惜しまなかったご家族の努力も讃えられます。卒業後もそれぞれの進む道で、さらなるご活躍を在校生、スタッフ、保護者一同、心から願っています。ご卒業、本当におめでとうござい



JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 PO Box 1171, Potts Point NSW 1335 電話 0413-430-726 (授業日13:30-17:00) 授業 毎週土曜日/14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com Web <http://edgecliff.japanclubofsydney.org>

2026年度は何事もウマくいくでしょう！

今年は1月31日より新学期を迎えます。毎年の年度始まりは久しぶりに登校してくる子どもたちの成長の早さに驚かされます。子供の成長はあっという間！グンッと背が伸びた生徒たちに会えるのが楽しみです。また、自分の妹や弟が新しくエッジクリフ校の仲間に加わる兄弟姉妹たちにとっては、なんだか誇らしい日でもあるようです。そんな学校の先輩になる生徒たちは堂々と胸を張って、兄弟や家族たちの先頭を歩いてくる姿が目につく笑顔になってしまいます。新入生とその親御さんたちにとっては、緊張の1年が始まりますが、それぞれの想いを抱えて、新しい教室で新しい担任の先生やクラスメイトと共に今年1年、元気に楽しく日本語学習を続けてほしいと思います。きっと全てウマくいきますよ！



「福は内！」で縁起よく

エッジクリフ校の1学期第1週目は少し早足ですが、毎年恒例の節分行事で2026年の福を呼び込むことから始めます。幼児部、小学部、国際クラスの全5クラスで「鬼は外！福は内！」の掛け声を練習した後で、校庭に現れる赤鬼や青鬼たちを豆に見立てた木の実などで退治します。こうして毎年、大人も子供も一緒になって日本の行事を楽しむことができ大変嬉しく思います。みんなで



一緒にたくさんの福を呼び込んで1年を実りあるものにしていきたいものです。いつもお手伝いいただき保護者の方にこの場を借りて感謝の言葉を贈らせていただきます。『保護者の方々の協力が子供たちの成長に直結しています！いつもありがとうございます！』



日本語ブーム到来か？！

昨年末から、またさくら組(国際クラス)への入学問い合わせが増えてきて、なんと今年は16名でのスタートになりそうです。クラスを始めた当初は1名になってしまった時期もあったさくら組ですが、ここ数年、自ら日本語を勉強したいと言ってやってくる生徒たちが増えていきます。エッジクリフ校にとっては大変嬉しい悲鳴ではありますが、どこの学校も教員不足という同じ問題を抱えているのではないのでしょうか。4歳から14歳までの生徒たちをひとつのクラスで指導していくのはとても大変です。教員が増えてくれればクラスを増やすことも可能です。そこで、どなたかこの記事を見た方で国際クラスの運営サポートにご興味のある方はぜひエッジクリフ校の仲間になりませんか？皆様のお知り合いで「あの人びったりだなあ！」と思い浮かんだ顔はありませんか？是非、エッジクリフ校にご連絡ください！

国際色豊かな元気一杯な生徒たちと楽しい時間を過



ごしながら、一緒に成長できると思います。また、いつもの連載を見てくださるとわかりますが、エッジクリフ校は横のつながりがとても太いので、他のクラスの先生方、運営委員と協力しながら心強く、楽しく働くことができます！

NSW州立美術館のDangerously Modern展に行ってきました！

本誌10月号「Let'sアート」でも紹介された「Dangerously Modern展」(2月15日まで開催)。マーン本誌編集長、斉藤理事、多田監事が鑑賞してきました。当日の日本語ガイドを務めてくださったのは、松田延子さん。

ヨーロッパに渡ったオーストラリア女性芸術家たちの興味深いエピソードも交えながら、作品の魅力をお話ししてくださいました。展示会の開催終了期限も迫っていますので、まだの方は、お見逃しなく！



Art
Gallery
NSW



イチオシ! YouTube



大家族フォーサイズ家

<https://www.youtube.com/channel/UCJVZRMjYxrJYdHsqD3BaeTA>

ここでは、オーストラリア人のお父さんと日本人(広島出身)のお母さん(マミー)、そして二人の間に生まれた七男一女が繰り広げる大家族ならではの日常生活の様々な出来事、話題について配信しています。

その中で、日豪の文化の違い、生活様式の違いについて、人として如何に生きるか、どうあるべきかといった哲学的なトピックから、はたまたLGBTQについて等々、



一人一人が持っている個性あるキャラクターを前面に押し出して興味深くそれぞれの話題につき説明してくれています。

そして、興味深いのはお母さんの話す広島弁を子供たちも流暢に話すことで、それがお母さんの祖国日本への愛着、家族の絆を物語っているように感じました。お父さんも日本語を話し、日本語をメインに英語での説明も含め、日豪の今について理解するのに大変ためになるイチオシのYouTubeです！(し)

スポーツ天国 No. 193

冬季五輪豪州代表

2月6日から22日までイタリアのミラノ・コルティナで開催される冬季オリンピックですが、現在、世界各国で代表の選考が行われています。

オーストラリア代表の可能性が一番高い日系選手と言えば、昨年の世界フィギュアスケートジュニア選手

権女子シングルで10位に入り、豪州国内で敵なしの石橋波奈(ハナ・バース)選手だと思います。日豪二重国籍を持つタスマニア生まれの15歳で、現在は大阪に拠点を移して練習に励んでいます。みんなで応援しましょう！彼女のインスタは、

https://www.instagram.com/hana.bath_sk8/

(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



NSW州立美術館は、今年のテーマ「エネルギー、創造性、そしてつながりに満ちたもの」をもとに、2026年の展覧会プログラムを発表しました。今回はその中から、注目の展覧会をいくつかご紹介します。

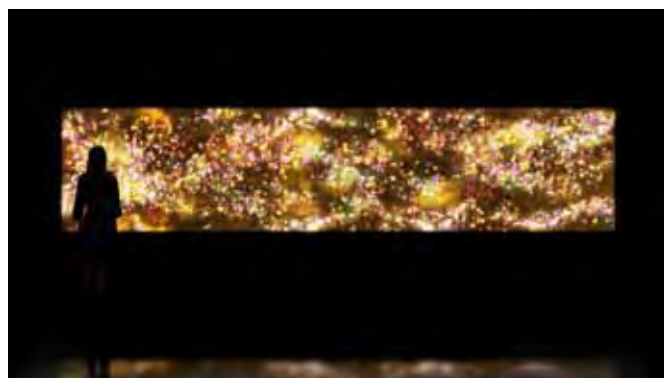
NSW州立美術館 2026年注目展覧会ご紹介

2月：若い才能が集う「ARTEXPRESS 2026」

毎年恒例の「ARTEXPRESS」は、NSW州全域の高校卒業試験（HSC）ビジュアルアートの優秀作品を紹介する展覧会です。未来のアーティストたちによる傑出した作品群が今年の美術館の幕開けとなります。

2月：自然との深い対話「スーパーネイチャー（Super Nature）」

同時期に開幕する「スーパーネイチャー」では、所蔵作品を通して人間と自然の結びつきを探ります。チームラボのデジタルアート『花と人—ゴールド』も展示され、その幻想的な世界が来館者を包み込みます。



teamLab 'Flowers and People – Gold' 2015, three-to-eight channel computer-generated interactive program, colour, sound, motion sensors, Art Gallery of new South Wales, purchased with funds provided by the David George Wilson Bequest for Asian Art and the Asian Collection Benefactors 2015 © teamLab, courtesy of Martin Browne Contemporary, Sydney

3月：第25回「シドニー・ビエンナーレ」

今年で25回目を迎える現代美術の祭典「シドニー・ビエンナーレ」。テーマは「リメモリー（再記憶）」。国内外のアーティストによる先鋭的な作品が集まり、現代社会における記憶と再生を問いかけます。

5月：三大公募展が集結

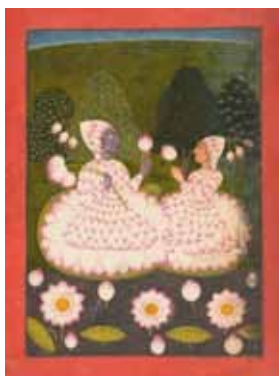
オーストラリアを代表する三つの公募展—肖像画の最高峰「アーチボルド賞」、風景画・フィギュア彫刻の「ウィン賞」、歴史・宗教画などを対象とする「サルマン賞」。今年もこの3展が同時開催され、現代絵画と彫刻の多彩な表現を一度に楽しめる貴重な機会となります。

6月：壮大な物語世界へ「アヴァター：ヴィシュヌの化身」

6月からは、ヒンドウ教の神ヴィシュヌをテーマにした大規模展「アヴァター：ヴィシュヌの化身」がスタート。南アジアと東南アジアの豊かな芸術と神話が、時を超えて観客を魅了します。



Sidney Nolan 'Ned Kelly' 1946, enamel on composition board, 90.8 x 121.5 cm, National Gallery of Australia, Canberra, gift of Sunday Reed 1976 © The Trustees of the Sidney Nolan Trust/DACS/Copyright Agency



India 'Lotus-clad Radha and Krishna' c1700–10, opaque watercolour on paper, 21.9 x 16.2 cm image; 28.6 x 21.3 cm sheet, Art Gallery of New South Wales, purchased 2007

10月：巨匠を再発見「ノーラン：オリジンズ」

20世紀オーストラリア美術を代表するシドニー・ノーランの大回顧展が開幕。無法者ネッド・ケリーの象徴的な肖像や中央オーストラリアの風景を通じ、ノーランが築いた独自のビジュアル表現とその革新性を振り返ります。

子どもギャラリー：3月開幕「Sou Sou（スースー）」

ラオスのアーティスト、メシエル・ボウンプラセによる「Sou Sou」展も3月にスタート。「がんばれ！」を意味するタイトルの通り、食文化へのオマージュを込めた遊び心あふれる大型陶磁器が並び、世代を超えて創造性を分かち合える空間が広がります。

2026年も「Art for All（すべての人にアートを）」を掲げ、NSW州立美術館は多彩なエネルギーに満ちたプログラムで皆さまをお迎えします。詳細は公式サイトをご覧ください。

NSW州立美術館日本語ボランティアガイド森岡薫

特別展：ロン・ミュエク展～邂逅～

会場：Naala Badu（北新館）地下2階

期間：4月12日まで。入場料：大人\$35（※詳細はNSW州立美術館公式サイトで要確認）

日本語ガイド・ツアー：2月22日～3月29日の日曜午前11時から。予約不要。入場券を購入の上、展覧会場入り口集合。

常設展：無料日本語ハイライト・ツアー

【Naala Nura（南本館）】毎週金曜日午前11時から。

集合場所はインフォメーション・デスク前

【Naala Badu（北新館）】毎週日曜日午後1時から。

集合場所はエントランス・バビロン

Art Gallery of NSW ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館

南本館に加え、日本人建築家ユニットSANAAのデザインによる北新館が2022年12月に新築オープンした。常設展は入場無料。開館：10am-5pm（水のみ10pm）。 www.artgallery.nsw.gov.au 日本語サイト：www.artgallery.nsw.gov.au/visit/plan-your-visit/information-in-other-languages/japanese



じゃあ、あんたが作ってみろよ
 原作: 谷口菜津子
 放映: TBS系列2025年10月~12月
 出演: 夏帆、竹内涼真、吉井渚、菅原大吉
 ★★★★★

勝男(竹内)は見た目はいけてるのに、中身は昭和なおじさんの価値観を持つ残念な男。同棲中の彼女・鮎美(夏帆)が作った料理にも「茶色すぎる」「同じ食材を使いすぎ」などと言いたい放題。自分は料理もできないくせに上から目線のアドバイス。記念日には楽勝のつもりで鮎美にプロポーズするが、断られてしまう。一方、料理上手で献身的な性格の鮎美は、ハイスペック男子との理想の結婚を目指してきたが、他人の意見に左右されず自由に生きる美容師・渚との出会いを通して価値観が変わっていく。鮎美と別れた後、勝男は初めて大好物の筑前煮を作ってみることにした。試行錯誤しながら作るものの、お世辞にも美味しいとは言えない。その時になって初めて鮎美を傷つけて来たことに気がつき、自炊を通して少しずつ反省していく。勝男の成長の物語であると同時に、“時代とともに変わっていく価値観”について、考えさせる物語である。

観賞

★5つ星評価

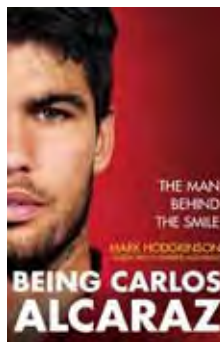
JCS アートレビュー



書籍

に性格も良く、素晴らしいスポーツマンシップ精神を持っていると言われていて、しかもアルカラスの見える笑顔は、なんともかわいくて魅力的！テニス史上の記録を塗り替え続けるアルカラスの才能と力がどのように育って行ったのか、など、よくリサーチされており、アルカラスについていろいろなことを知ることができる。アラカラスファンには必読書。

テニス界のスーパースター、カルロス・アラカラスの伝記本。2026年 1月中旬時点でグランドスラム6回優勝、世界ランク1位を誇る若年22歳のアルカラス。おまけ



Being Carlos Alcaraz
 -The man behind the smile-
 著者: Mark Hodgkinson
 発行: Octopus Publishing 2025年
 ★★★★★



SCOOOOP
 アーティスト: Band-Maid
 ★★★★★

ガールズロックバンドBand-Maidの最新EP。Band-Maidはメイドの格好の5人が素晴らしいテクニックでパンチのあるハードロックを繰り広げる。SNSで2015年にヨーロッパやアメリカで話題となり、海外ツアーはいつも売り切れになっている。今作はEPといっても8曲収録され、内容も非常に濃い。何といても3曲がアニメとタイインしており、どれもキャッチーで力強い曲。Ready to Rockは「ロックは淑女の嗜みでして」のオープニングテーマ曲、What is Justice?は「桃源暗鬼」、Zenは「全修」で使われており、どれもパワフルで秀逸な曲。またSionは大作でその展開も素晴らしくまたBand-Maidの境地が広がっているように感じる。これまでの作品でもほとんど全てシングルにしてもいいような曲ばかりだが、まだまだ進化し続ける5人に敬服。

音楽

山中総領事とJCS役員が新年の会

山中修総領事とJCSの役員による新年懇親の会が、1月22日(木)に総領事公邸にて催され、大西悟公邸料理人による夕食を頂きながら率直な意見交換をさせて頂きました。

今年は日豪友好協力基本条約締結50周年を迎えるということで、今年JCSが行う予定の行事をこの友好協力条約を記念したものにしていけることが確認されました。

また、丁度この日は、昨年末ボンダイビーチで発生した反ユダヤを掲げるテロ事件での犠牲者を悼む日ということで、今後シドニーで二度とこうしたことが起こらないようにということを共に祈念し、1分間の黙祷を捧げました。



(左から)水越副会長、松隈副会長(事務局長)、山中総領事ご夫妻、渡部会長、チョーカー相談役、リヒター理事、神田領事

大きな声では 言えない話



自分重視がとても楽しいと気づきました

グローバル展開するIT企業に務めているのですが、最近組織変更があり、自分の専門から外れることなく直属の上司が変更になりました。

以前のチーム編成では、周りの経験年数が少なく、出社する月曜、金曜以外は多くとも一日に数時間働けば業務をこなせる環境にありました。時間を有効に使いたいという思いから、火曜、木曜朝はオンライン英語レッスン、木曜隔週夕方にパブリックスピーキングのクラス、火曜、水曜、金曜夕方はジム、木曜隔週夕方、土曜、日曜午前中に犬のトレーニングと業務外で忙しい日々を過ごしていました。

組織変更して一転、直属の上司が新しく入社したアメリカ人に代わり、これまた新しく入社したパリジャンが担当するヨーロッパのビジネスをサポートするようにな

りました。最初の数カ月は時差の都合で午後のはのびりと過ごしていたのですが、新しい上司の信頼を得ることができ、能動的にプレゼンテーションを作成しているため、今では業務時間がほぼ業務に割かれるように。そしてパリジャンとのミーティングは午後9時からスタート。業務外のアクティビティ量がそれほど変わっていないのと、このアクティビティで友達の輪が増えたため、予定表がパンパンに。この土曜はニューキャッスル日帰り、そして日曜はうちに人を招いてのホームパーティで、ほぼ息切れ状態です。

とはいえ、テストステロン渦巻くIT業界、弱みを見せるのは禁物。以前は人への思いやりを第一に、自分から手伝えることはないか確認して笑顔を絶やさず周りのサポートに尽力していましたが、今では自分への思いやり重視。自分のことで精いっぱい、人のサポートをするような余裕はありません。何かリクエストされたら笑顔を隠し、なぜ私に対応しなければならないのかをまず確認。以前のようにフレンドリーで親切的な日本人ではなくなりました。大きな声では言えませんが、自分一番のこの状況、とても楽しいことに気づきました。そして、この状況を楽しめる自分を密かに誇りに思っています。



改めて感じる日本のサービスの良さ

年末年始に日本へ行き、改めて「一般的な店のサービスの良さ」に感心しました。飲食店では水やおしぼりが自然に出て、店員さんが適切なタイミングで注文を取りに来てくれる。呼べばすぐに気づき、ホールに出たついでに他の客席にも目を配り、手ぶらで戻らない。目配りと気配りが徹底されています。どんなに忙しい時間帯でもおざなりな感じはなく、親切な接客態度や丁寧な話し

方に、いつも気分よく過ごすことができます。かといって過度にフレンドリーさを前面に出すわけでもなく、節度のある距離感も心地よいと感じます。

一方、シドニーのレストラン(特に中華!)やカフェでは、店員と目が合わず、用事があってもなかなか来てくれない場面が多いのが現実です。日本では外国人スタッフが以前より増えているにもかかわらず、同じレベルのサービスが提供されていることを考えると、やはり国籍や人種の問題ではなく、店側の教育や意識の差なのでは…とってしまいます。オーストラリアでは「このサービス水準でもお客さんが来る＝お客さん側もそこまで強く求めている(または慣れている)」という前提ができている、ということなののでしょうか?

ただ、これだけ日本ブームが続いているということは、オーストラリア人も日本のサービスの良さをしっかり理解していて、魅力の一つとして感じているのだろうとも思います。(向日葵)

ナチュロパシーという選択

～自然療法を正しく理解するために～

シドニーの日本人ナチュロパス 塚田直美



第1回 ナチュロパシーとは？

「自然＝安全」ではない時代に知っておく基礎

はじめに:ご挨拶

今月号から1年間、偶数月の隔月で連載を担当することになりました、シドニーの日本人ナチュロパス ナオミです。

オーストラリアでナチュロパス(自然療法士)として歩み始めて20年。これまで一貫して女性特有の疾患をはじめとする様々な症状に対し、豊富な臨床経験を積んでまいりました。現地の多文化社会の中で多様な背景を持つ方々の健康に携わるとともに、言葉や文化の壁がある海外環境において健康上の不安を抱える邦人の皆さまを、専門的な視点から長年サポートし続けています。

オーストラリアの生活ではサプリメントやハーブが身近ですが、だからこそ正しく、そして効果的に自然療法を生活に取り入れるためのヒントをお届けしていきます。

オーストラリアにおけるナチュロパスとは

日本でも近年「自然療法」という言葉が聞かれるようになりましたが、ここオーストラリアにおける「ナチュロパス」は、単なる民間のリラクゼーションの専門家ではありません。オーストラリアでは、解剖生理学、生化学、病理学、薬理学など、現代医学と同様の基礎医学を大学レベル(学位取得)で修めることが求められる高度な専門職です。長年、民間医療保険(プライベートヘルス)の適用対象となっていた歴史もあり、GP(一般医)や専門医とも連携を取りながら、クライアントの健康を包括的にケアする「補完医学のプロフェッショナル」として、社会的に確立された地位を築いています。

ナチュロパシーの理念:根本原因へのアプローチ

ナチュロパシーの根底には、「体に備わっている自然治癒力を最大限に引き出し、不調の根本原因を取り除く」という原則があります。単に表面的な症状を抑えるのではなく、食事、生活習慣、植物療法(ハーブ)、栄養素(サプリメント)などを用い、身体・心・環境の全体的なバランスを整えていきます。「なんとなく体が重い」といった未病の状態から、どこへ相談しても改善せず諦めていたような慢性的な不調まで、その背景にある原因を多角的に紐解き、健康の土台を立て直していくのが大きな特徴です。

「自然＝安全」ではない時代:自己流のリスク

20年の臨床現場を通じて常に発信し続けてきたのは、



今月のハーブ●エルダーフラワー

「万能の薬箱」と呼ばれ、夏の疲れをいたわり季節の変わり目の土台作りを支えます。可憐な姿に秘められた確かな力は、自然療法で古くから信頼されています。

「自然なものなら何でも安全、無害である」という誤解への注意喚起です。昨今、SNSには魅力的な健康情報が溢れています。しかし、自然由来の成分であっても、体質や服用中の医薬品との飲み合わせによっては、健康を害するリスクがあります。サプリメントを「自己流」で選んで摂取することは、時に本来の目的から遠ざかるだけでなく、体に予期せぬ負担をかけてしまうことも少なくありません。

発信者の「資格」を見極める

溢れる情報の中で何を信じるべきか。一つの大きな指標となるのは、発信者の「資格と経歴」です。認定団体に登録されているナチュロパスは、医学的知識に基づいた安全性を何よりも優先します。個人の感想はあくまで一例に過ぎません。大切な体に関わることだからこそ、専門的なトレーニングを受けた専門家の視点を確認する習慣(ヘルスリテラシー)をぜひ大切にしてください。

今後の連載について

この連載では、2カ月に一度、サプリメントとの安全な向き合い方、ライフステージごとの不調ケア、そして海外での正しい情報選びについてお話ししていきます。次回の4月号では、オーストラリアの厳しいサプリメント規制(TGA)と、専門家を見極めるポイントについて詳しく解説します。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さらに詳しい情報・ご相談はこちらから

日々のセルフケアのヒントや詳しい解説、個別のお問い合わせなどは、以下のリンクにまとめています。

<https://linktr.ee/jpnaturopathinsyd>

気が付くとインスタを見ているという日々を過ごしていたら、私の苦手なお掃除の便利術に遭遇しました。アテンションスパンが8秒というインスタ世代の興味を引くだけあってキャッチーで分かりやすい。こんなに簡単な方法で実際に家がきれいになるのか?!と嬉しい一方で、不安も。とはいえ、情報過多な世の中を生き抜いてきたインスタ世代、情報精査はできているはず。人気の投稿は役に立つものに違いない!と強く信じ、掃除をはじめとした諸々の便利術を実証していきたいと思います。

第12回 レシートでキャッシュバック

空き缶、空き瓶を集めて機械に入れると一個あたり10セントが戻ってくるReturn and Earn。日本人の知り合いによると、Chatswoodでは機械の前にベンツなどの高級車がずらりと列をなしているとのこと。「どうして中国人富裕層が列を作ってると思う?」と聞かれ、環境保護のためと答えたら、「違う、中国人富裕層は稼げるところは一銭も逃さない、そのマインドで財を成したんだ」と。まさに一銭を笑う者は一銭に泣く。挑戦してみたものの、頻繁に通うのは簡単ではないし、空き缶、空き瓶をためるのはスペースの問題もあって現実的ではありません。

そんな中、いくつかあるキャッシュバックアプリが、レ

実証! インスタ便利術

シートを提出すればキャッシュバック対応の商品をチェックして、長くても一日待てばキャッシュバックが受け取れるという仕組みがあるとインスタで知りました。

私はShopBackというアプリを利用したのですが、大手スーパー、量販店、デパートなど、数多くのショップがカバーされています。レシートごとのキャッシュバックは非常に少ないので、まさにちりつも。とはいえ、レシートがアプリ内に保存されるので、後から確認したくなった時のために紙レシートを取っておかなくてよいのも便利。そして報酬増量キャンペーンもあります。塵を積んで山を作ってみませんか?

STEP 1

レシートを撮影



STEP 2

撮影したレシートをアプリ内で送信

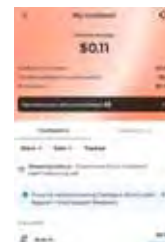


STEP 3

審査を待つ

STEP 4

報酬が付与される



シドニースケッチ



Tokyo Lamington (Marrickville)

マリックビル (Marrickville) は、シドニー中心 (CBD) から南西に7キロの場所にあります。工業と農業の中心地であったマリックビルは、現在では醸造所、劇場、フォー専門店、ギリシャ料理、コーヒー焙煎所、ワインバーなどが軒を連ねています。かつてはシドニーのギリシャ人コミュニティの中心地だったそうです。

その活気は深夜まで営業が続く"パープルフラッグ制度"(夜間の活気、多様性、安全性に優れた地域を表彰する国際的な取り組み)を受賞し、「地球上で最もクールな郊外」のひとつとして雑誌で紹介されています。



私は、美味しいコーヒーや紅茶を探しに行くcafe巡りが趣味でもあります。マリックビルにはコーヒー焙煎所が多く美味しいコーヒー屋さんがいくつもあります。

今回は"Tokyo Lamington"に行ってきた。食パンを小さくしたようなカラフルなラミントンが並んでいる可愛いcafeです。種類がたくさんあるので、また今度は友達と一緒に行ってみたいです。

<https://maps.app.goo.gl/UyrJx9FtF8Sa3SnD8>



自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンス写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送りください。



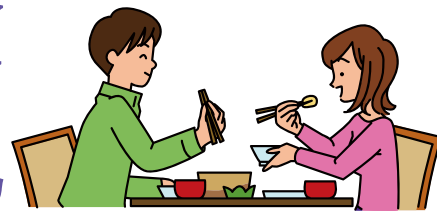
テディベアのクリスマスツリー

皆さんは、シドニーに毎年テディベアのクリスマスツリーが飾られるホテルがあるのをご存知ですか？

名前は「The Fullerton Hotel Sydney」。151年の歴史のあるモダンでエレガントな5スターホテルです。ホテルの中にはケーキショップもあり、クリスマスシーズンならではのデザインケーキはプレゼントにお勧めです。

クリスマスシーズンにマーティンプレイスに行くときは、この可愛いテディベアがギュッと”おしくまんじゅう”のように重なっているツリーを写真におさめたいと思います。

外食日記



Shang Lamb Soup 上羊羊汤

住所: Shop 6/380 Forest Rd, Hurstville NSW 2220

電話: 0412215696

予算: \$20

営業時間: 火曜除く毎日 11:30-21:30

雰囲気 6、料理 7、サービス 7



今月はHurstvilleにある中国東北地方の羊がメインの料理です。Forest roadを西に行き、繁華街の端にお店があります。

オーダーしたのは、この店の看板メニューと思われる招牌羊杂汤粉(Chef's special lamb soup)です。麺の種類が米の麺、小麦の麺など選べるのですが、红薯粉(Potato noodle)にしました。

ほぼ透明なジャガイモの麺は久しぶりに食べましたが、滑らかで弾力がありますね。箸からつるっと落ちてしまいがちで、口に入ると、まだ熱い麺が噛み切れずにツルツルと喉に入ってしまいます。白濁したスープからは、羊独特の臭いを感じました。一口目はあっさり優しい味付けかと思いましたが、食べ進めるとしっかりと塩味が効いてきました。香草と塩味でやや単調になったので、テーブルにある胡椒と辣油で味を調整しました。羊肉はゴロゴロとまではいきませんが、程よく入っていました。



仏教語からできた 日本語 その233

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 217

主任弁護士 林由紀夫(H & H Lawyers)

智目行足(ちもくぎょうそく)

中国仏教を代表する僧侶の中に、隋の時代に天台宗を大成した智顗(ちぎ)(538~597)がいます。智顗は仏教教理について深い学識を持つ学僧であるとともに、卓越した禅師でもありました。彼は多くの著作を残しましたが、その中でも『法華玄義(ほっけげんぎ)』と『摩訶止観(まかしかん)』は、特に有名です。『法華玄義』は『妙法蓮華経』の題目を注釈したのですが、その中には智顗特有の壮大な仏教観が展開されています。また『摩訶止観』は止観(仏教冥想法の一種)について組織的に説いている優れた指南書として、中国や日本で盛んに研究されてきました。

『法華玄義』の中に、「智目行足到清涼池」(「智の目と行の足とをもって清涼の池に到る」という一節があります。この言葉には智顗の学問と実践に対する基本的な姿勢が示されています。つまり、ここでは智慧の目(智目)とそれに基づく修行(行足)が両方あってはじめて、清涼な池にたとえられる悟りの境地に到ることができる、と述べられています。智顗の時代には、仏典を学ぶ必要を認めず、ただひたすら坐禅を行う僧侶や、学問に没頭し修行を重視しない僧侶が多くいました。智顗は前者を「暗証の禅師」と名づけ、後者を「誦文(じゅもん)の法師」と呼び、両者とも厳しく退けました。智顗にとって、仏教の研究と実践は、あたかも鳥の両翼や車の両輪のようなものであり、両方とも悟りに到るために不可欠なものであったのです。誦文の法師のように、経典を研究するだけで、その教えを実践しなければ、何の結果も期待できません。しかし、逆に到達すべき目標が正確に見出されないまま、むやみに修行を行うと、時には誤った方向に突き進んでしまうことにもなりかねません。

今日世界中で、宗教の名のもとにテロなどに代表されるような他人に危害を加える暴力行為が頻繁に行われています。しかし他人に暴力を振るうことは、本来いかなる宗教でも認められることではありません。そのような行動を行う人は、その人の掲げる宗教の教えから逸脱したことを行なっていると言わざるをえません。宗教に携わるすべての人が、自分の信じる教えの本質をしっかりと把握し、信仰の道を確実に歩むことが願われています。 合掌

中古車購入は個人から？ディーラーから？

Q:中古車はディーラーより、ネットで売主から直接買う方が安いと聞きました。どんなリスクがありますか？オーストラリアの消費者保護法の観点で違いはありますか？

A:確かに、ネット上で個人売主から直接購入(Private sale)すると、ディーラーより安く買えるケースは多いです。ただし「安さ」と引き換えに、法律上の保護が弱くなる点が最大のリスクです。

まず、ディーラー(事業者)から買う場合は、オーストラリア消費者法(Australian Consumer Law: ACL)が適用されます。具体的には「故障することを知りつつ車を売ってはいけない」「説明と違う状態の車を売ってはいけない」などの消費者保証(Consumer Guarantees)が働き、購入後に重大な不具合が見つかった場合、状況により修理・交換・返金を求められる可能性があります。また、走行距離や修復歴などについて虚偽説明があれば、ミスリーディング(誤認させる表示)として責任追及できる余地があります。

一方、個人売主から直接買う場合、通常はACLの消費者保証が及びません。つまり「買った後に壊れても基本的に自己責任」で、よくあるトラブルとして、購入直後の故障、事故歴・水没歴の隠れた不具合、メーター改ざん疑い、ローン未完済による権利関係の問題(引渡し後に差押え等)が挙げられます。売主が「ノークレーム・ノーリターン」「現状有姿(as is)」という条件の場合、実務上、買主が救済を受けるのはかなり難しくなります。

したがって、直接購入を検討する場合は、①PPSR(Personal Property Securities Register)等で担保権の確認、②整備記録・修理歴の確認、③第三者による車両検査(pre-purchase inspection)、④試乗、⑤契約書や領収書を必ず残す、などの自衛策が重要です。PPSRに関しては、通常は車のVIN番号(Vehicle Identification Number)を使って検索できます。売主からVINを教えてもらい、購入前に確認するのが安全です。

結論として、価格重視なら個人売買、安心重視ならディーラーです。中古車は当たり外れが出やすいため、ディーラー経由では「法的保護のメリット」を買っている、個人売買では「リスクを引き受けて安く買う」と考えると分かりやすいでしょう。

●今月の表紙 『七色のしぶき』マンリービーチ NSW

強風は避けたいものだが、それは時に素敵な景色を見せてくれる。大波が沖へ向かって吹く強い風を正面から受け、ゆっくりと巻いていく。波のてっぺんが堪えきれずにしぶきとなって飛び上がった。待ってましたとばかりに、陽光がしぶきをキャンバスに虹色を描く。一瞬だけ現れる自然からの祝福。強風すら愛おしくなってくるのだ。



フォトトラベラーYori / ネイチャーフォトグラファー、トラベルライター、グラフィックデザイナー
photraveller.com / Facebook・Instagram / @yori.hirokawa

編集後記

▼年末年始に日本に家族で行って来ました。長野の温泉や軽井沢、川越にも行き、母校の早稲田大学にも20年以上ぶりに訪れました。長野では雪も見れたし、もちろん食も充実して、いつもの仕事の出張とは違うゆったりとしたいい滞在でした。▼しかし旅費が高い！エコノミーリターンで3人でほぼ120万円。しかもAirBnbや長野他での滞在を入れると旅費だけで150万円ほど…。色々と事情があってこの時期になり、冬の日本は結構好きなのですが、やはり年末年始は避けるべきですね。▼ただ東京のスーパーで見た美味しそうなお弁当が400円！おにぎりが1個80円という安さは素晴らしい。どこに行っても美味しいものに囲まれていました。今度はピークを避けてまた美しい地方と食べ物の旅に行きたいです。(Jun)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	松隈 由紀子(事務局長兼任)
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
理事	林 さゆり
専門理事	飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	Read 晶(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信) JCSフラアロハ(Gault 良子) ソフトボール部(安達 ^{さだのり} 定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎 西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐 坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀

編集から

感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時～18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレーンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承ください)

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告データ(掲載できるアートワーク)を、メールで、jcs@japanclubofsydney.org まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00 (月額)	\$ 132.00 (月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00 (月額)	\$ 77.00 (月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00 (月額)	\$ 55.00 (月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50 (月額)	\$ 33.00 (月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告データ(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛にメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿をメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を
提出してください。
オンラインの場合は **こちら**